

1 単元名「大堀川の魅力をつたえよう」 教材名「リーフレットで知らせよう」**2 単元の目標**

- ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使うことができる。 [知識・技能(2)イ]
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思考・判断・表現B(1)ウ]
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力・人間性等]

3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として「多くの人に大堀川の魅力をリーフレットにまとめて知らせる活動」を位置付けた。リーフレットは、紙1枚で自分の伝えたいことを紹介するものである。それは、限られた紙面で紹介するために、興味を持ったことや特に知らせたいこと、学習から考えたり、感じたりしたことを明確にまとめなければならない。

これらの特徴から、この言語活動を位置づけた学習活動を展開することで「調べたことをまとめて、事実やそれを基に考えたことを書くこと」につなげることができる。

4 単元について**(1) 教材観**

本単元は、リーフレットとはどんな物なのかについて、リーフレットの特徴や見出しの付け方を、具体的な例を使ってわかりやすく説明している。また、社会科見学からの流れを詳しく表しているため、自分が伝えたいことをどのようにまとめればよいか、流れが分かるようになっている。

更に、社会科見学でもらったリーフレットも用いるようにする。実際のリーフレットを用い、具体的な事例や出典、引用の書き方などに気づかせることで、本単元でねらう資質・能力を身に着けさせることが期待できる教材である。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、日記や作文など文章を書くことが好きで、書く活動に対して意欲的に取り組んでいる。しかし、文と文との関係性が曖昧であったり、「だれが、いつ、どこで、何を、どのように」といった情報が不十分であったりすることも多い。そこで、読み手を意識したわかりやすい文章を書く力を身につけることが必要だと感じている。

本単元では、初めてリーフレットの作成をするため、文章の中での中心となる語や文をとらえて文章を書き、リーフレットにまとめていきたい。

(3) 指導観

第一次では、大堀川を紹介するリーフレットを作成し、展示して他学年児童にも読んでもらうことを伝えることで、意欲付けを図る。また、実際のリーフレットを見ながら、形式的な特徴や書き表し方の工夫に気づかせる活動をすることで、リーフレット作りへの見通しをもたせる。

第二次では、社会科見学で学習したクリーンセンターとリサイクルプラザについて知らせるリーフレットを作成し、手順を確認していく。その後、大堀川について情報収集を行う。さらに、大堀川の課題やおすすめする理由、ふさわしい事例などを選択し、個人でのリーフレット作成につなげていく。

本時では、前時まで収集した情報の分析に、思考ツールを意図的に使って考えを広めたり、可視化したりして、考えを深めていく。また、グループで話し合う時間を設けることで、客観的な視点から自分の選んだ事について吟味させるようにする。

清書では、児童がICTや手書きなど児童が自由に選択できるようにさせたい。

第三次では、作成したリーフレットを読み合って感想を交流し、学習を振り返る。そして、図書室に展示コーナーを設け、他学年児童にも読んでもらう。

○研究主題との関連について

本単元では、総合的な学習の時間と関連付けることで、身近な自然について児童が主体的に自分の興味のあることを選び、明確な目的意識をもって意欲的に学習に臨めるようにする。また、リーフレットの展示をすることで、相手意識をもって文章表現を工夫したり、情報分析をしたりする姿に期待したい。

第二次では、グループで協働的に課題解決に取り組む場を設定する。調べた情報を分析する活動、互いの文章を読み合って良いところや改善点を見つけ合う活動を行う。グループの形態をとることで、友達との対話的な意見交換を通して、課題を多様な視点から考えられるようにしたい。

○他教科との関わり

総合的な学習の時間では、2学期も継続して大堀川について調べていく。見学や地域の人々との交流を通して、ふるさとへの愛着を持ち、自分達にできることを考え実践し、学習が深められるようにしていきたい。今の段階では、リーフレット作りが最適であると考え。この一年間、大堀川について計画的に学習していくと、総合的な学習の時間の調べ学習が深まっていくにつれて、もっと多くの情報を伝えたいという思いが高まっていくと予想される。2学期には、「新聞をつくろう」という単元もあるので、新聞にまとめたり、スライドショーにしたりして多様な表現方法に広げていきたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使っている。 (2イ)	①「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、リーフレットを作ろうとしている。

6 指導と評価の計画（11時間扱い）

学習過程	時間	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見いだす)	1	○リーフレットについて知り、学習の見通しを持つ。 ・大堀川についてわかりやすく伝えるという目的でリーフレットにまとめるという学習の見通しがもてるようにする。	[主体的に学習に取り組む態度] ＜ノート・発言＞
	2	○リーフレットの特徴を探る。 ・教科書のモデル文を読み、リーフレットの形式的な特徴や書き表し方の工夫に気づかせるようにする。	[主体的に学習に取り組む態度] ＜本文サイドライン・ノート・発言＞
二次 (自分で取り組む)	3	○リーフレット作りの手順を確認する。	[思考・判断・表現] ＜発言・リーフレット・振り返り＞
	4	・社会科見学で学んだことを例にして、リーフレットを作り、手順を確認することで学習の見通しがもてるようにする。	
	5	○大堀川について紹介したい情報を集め、メモに書く。 ・得た情報は付箋に常体で簡潔に書くように指導する。 ・自分だけの情報ではなく、友達とグループで交流する時間も入れ、情報をさらに増やすようにする。	[知識・技能] ＜ワークシート・メモ＞
(広げ深める)	6 (本時)	○調べたことを整理して、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を書く。	[思考・判断・表現] ＜ワークシート・発言＞

並行学習
社会科「ごみのしよりと利用」
総合的な学習の時間「心のふるさと大堀川探検隊」

	7	○リーフレットの全体の下書きを書く。 ・一番伝えたいことが伝わるようにグラフや図を入れる。	[知識・技能] ＜下書き・発言＞
	8	○下書きに付け加えや修正をする。 ・伝えたいことが伝わる文章になっているか見直す。 ・出典が入っているか確認する。	
	9 10	○リーフレットを作る。 ・清書し、リーフレットを完成させる。 (Chromebook 又は手書きで選択できるようにする。)	
三次 (まとめ あげる)	11	○完成したリーフレットを読み合う。 ・伝えたいことが伝わっているか、友達と感想を交流する。	[主体的に学習に取り組む態度] ＜リーフレット・発言・振り返り＞
事後		○展示会を行い、他学年児童に完成したリーフレットを読んでもらう。	・児童の意欲向上につなげる。

7 本時の指導 (6/11)

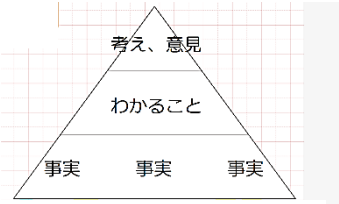
(1) 本時の目標

- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を書くことができる。

[思考・判断・表現B(1)ウ]

(2) 展開

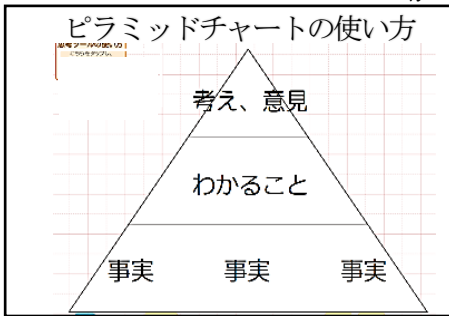
過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考
導入 (見いだす) 3分	1 本時の課題をつかむ。 ・前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○前時までに収集した情報を基にして、学習活動の確認をする。	
	調べたことを整理して、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を書こう。		
展開 (自分で取り組む) 2分	2 選ぶときのポイントを確認する。 ①一番伝えたいことは何か ②情報がたくさんあるか	○ポイントを明確にすることで、活動への見通しを持たせるようにする。	
5分	3 調べた情報の中で、一番伝えたいことは何かを考えながら整理する。 ・「ピラミッドチャート」を使い、聞いたことや調べてわかったことを見比べて、自分が一番伝えたいことを明確にする。	○調べた情報をすべてリーフレットに書くことはできないため、付箋を動かしながら優先順位をつけ、視覚的にわかりやすくする。	・ピラミッドチャート (ワークシート)

	ピラミッドチャート 	○作業が進まない児童には、何を一番伝えたいのかに重点を置き、優先順位をつけるよう指導する。	
(広げ 深める) 5分	4 ピラミッドチャートにまとめたことをグループで交流し、アドバイスし合う。	○効果的な話し合いをしているグループや選択に困っているグループがあれば、全体で共有する。	
10分	5 ピラミッドチャートをもとに、読み手を意識して文章を書く。 【大事な言い方】 ・自分の考えや意見 ・読み手を意識した文末表現	○【大事な言い方】の掲示を活用し、言葉のつながりを効果的に使えるよう指導する。	
7分	6 グループで書いた文章を読み、アドバイスし合う。 【アドバイスの視点】 ①一番伝えたいことが書けているか ②読み手を意識して、わかりやすく書けているか。	◇自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を書くことができたか。 [思考・判断・表現]	
まとめ (まとめあ げる) 8分	7 全体で発表する。	○代表児童の書いた文章をスクリーンに投影し、発表させる。 ○発表に対しての感想を言わせることで、より伝わりやすくするための視点を明確にする。	
5分	8 本時の学習を振り返る。	○一番伝えたいことを選べたことで、読み手がわかりやすいリーフレットに近づいてきたことを伝え、次時への意欲につなげる。	・ワークシート

(3) 板書計画 (ICT 機器活用も含む)

⑤

ピラミッドチャートの使い方



スクリーン

① 一番伝えたいことは何か

② どのようなところがたくさんある

伝えたいポイント

⑥ 調べたことを整理して、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を書こう。

リーフレットで知らせよう

(4) 評価

- A : 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を工夫して書いたり、友達に助言したりしている。
- B : 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、一番伝えたいことを選び、読み手に伝わる文章を書いている。
- C : 一番伝えたいことを選び、文章に書いている。